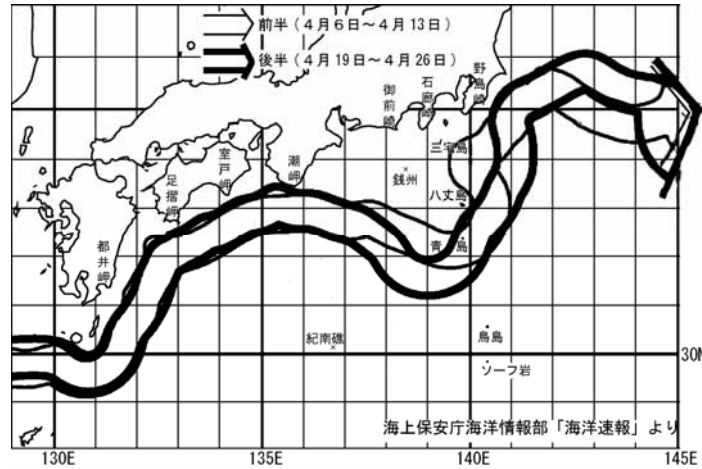


漁海況月報

平成 28 年 4 月 1 日

No. 4 ~4 月 30 日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



4 月定地水温の旬平均値 () (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方*
上旬	15.9	16.1	16.8	17.9	17.1	16.5	-
	1.2	1.2	1.9	1.9	1.0	1.4	-
中旬	16.7	16.7	16.6	17.0	17.6	17.4	-
	1.5	1.2	1.1	0.6	1.0	1.6	-
下旬	17.8	18.3	18.0	18.2	18.2	18.2	-
	1.6	2.3	1.8	1.1	0.8	1.6	-
月	16.8	17.0	17.2	17.7	17.7	17.4	-
	1.4	1.6	1.6	1.2	0.9	1.5	-

*地頭方は平成 28 年 3 月末で定地水温観測を終了した。

[黒潮流路]

4 月前半に黒潮は、B 型から C 型に変化した。前半後半(C 型時)には伊豆半島沖の 32.5° N 付近から北に進み、八丈島東側を通過した後、房総半島に向けた。4 月後半には、遠州灘沖の冷水塊が拡大し、黒潮は伊豆半島沖の 32~31.5° 付近にまで南下した後北北東に進み、野島崎付近に接近した。

[県下沿岸域]

4 月は、上旬から下旬を通じて、相模湾側、駿河湾側共に「やや高め」から「高め」であった。

[竿釣カツオ]

4 月の県内主要 5 港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオ(近海船+沿岸船)の水揚量は 44 トンで、前年同期の 45%、過去 5 年平均の 19%、前月に続き現行の統計値としては平

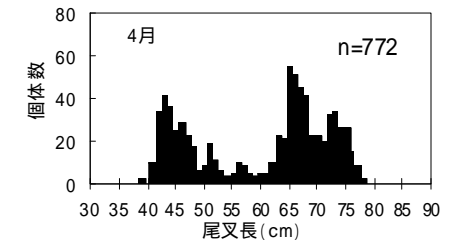
成 2 年以降で最低の数量であった。平均単価は 411 円/kg で前年同期を下回った。

上旬は、近海竿釣り船が 22~25° N、146~149° E の中南海域で、大(尾叉長 65cm モード)や特々大(同 73cm モード)カツオを中心に漁獲した。中~下旬は、沿岸竿釣り船が 33~34° N、140° E 付近の伊豆諸島海域で小~極小(同 41cm モード)カツオを漁獲したが、水揚げの主体はキメジで、全体の 88% を占めた。

この他、下旬には曳き縄船が遠州灘沖の日戻り操業で小~極小カツオを漁獲した。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要 5 港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
28 年 4 月上旬	36	2	18.2	314
中旬	4	6	0.6	866
下旬	4	7	0.6	874
28 年 4 月計	44	15	2.9	411
27 年 4 月計	97	17	5.7	456
26 年 4 月計	175	21	8.3	310



御前崎港における測定結果

[定置網]

伊豆半島東岸大型定置網 7 か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は 640 トンで前年の同漁場の水揚量(687 トン)の 0.93 倍であった。また、1 か統あたりの水揚量は 91.5 トンで前年(98.1 トン)の 0.93 倍、平年(昭和 57~平成 27 年の平均 58.7 トン)の 1.56 倍であった。

7 か統の魚種別水揚量は、さば類、ブリ、サワラ、スルメイカ、ヒラマサの順に多かった。さば類の水揚量 298 トンのうち、北川漁場が 24%(72.0 トン)、川奈漁場が 21%(63.7 トン)を占めた。ブリの水揚量 289 トンのうち、川奈漁場が 40%(115.1 トン)、北川漁場が 24%(69.8 トン)を占めた。サワラの水揚量 14.4 トンのうち、川奈漁場が 87%(12.6 トン)、古網漁場が 10%(1.4 トン)を占めた。スルメイカの水揚量 14.3 トンのうち、北川漁場が 39%(5.6 トン)、古網漁場が 17%(2.5 トン)を占めた。ヒラマサの水揚量 4.9 トンのうち、赤沢漁場が 61%(3.0 トン)、川奈漁場が 28%(1.4 トン)を占めた。

なお、ブリは銘柄わらさが主体で、前年比 1.5 倍、平年比 9.4 倍、さば類についても、マサバは前年比 3.8 倍、平年比 1.6 倍、ゴマサバは前年比 3.9 倍、平年比 7.6 倍と好調な漁獲であった。一方、銘柄ぶりについては、前年比 0.04 倍、平年比 0.21 倍と極めて低調な漁獲であった。また、マイワシについても、先月に引き続き今月も入網が無く、カタクチイワシについても、水揚量は 5 kg 程度と、低調な漁獲が続いている。

漁場別の水揚量では、川奈漁場が 198 トン(ブリ、さば類)、北川漁場が 149 トン(ブリ、さば類、スルメイカ)の順に多かった。

<参考表> 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	298.4	3.9	6.8	北川、川奈、富戸
ブリ	289.1	0.8	4.7	川奈、北川、伊豆山
サワラ	14.4	1.3	1.6	川奈、古網
スルメイカ	14.3	1.1	0.8	北川、古網、富戸
ヒラマサ	4.9	0.2	0.8	北川、川奈、富戸

[サバたもすくい棒受網]

小川港にはマサバが453トン(前年同月比156%)、ゴマサバが141トン(前年同月比74%)水揚げされ、1隻あたり水揚量はマサバ12.3トン(前年同月10.8トン)、ゴマサバ3.8トン(前年同月7.0トン)であった。1kgあたり平均単価はマサバ105円で前月(142円)を下回ったが、前年同月(106円)とほぼ同額であった。ゴマサバは101円で前月(119円)を下回ったが、前年同月(88円)を上回った。

今月はたもすくい操業を行い、月を通じて銭洲に漁場が形成された。また、一時的に三本にも漁場が形成された。マサバは29cmにモードを持つ3歳魚主体、ゴマサバは30cmにモードを持つ3歳魚主体であった。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(ト)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(ト)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
28年4月上旬	289	34	4	16	18.1	2.1	92	110	銭洲
中旬	79	18	3	6	13.2	2.9	106	110	銭洲、三本
下旬	85	90	4	15	15.6	6.0	144	96	銭洲、三本
28年4月計	453	141	11	37	12.3	3.8	105	101	銭洲、三本
27年4月	291	190	11	27	10.8	7.0	106	88	三本、三宅、御蔵
26年4月	536	394	17	47	11.4	8.4	215	105	三本、三宅、御蔵

* 水揚量は、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[サクラエビ船曳網]

平成28年4月の出漁日数は7日(前年同月6日)、水揚量は162トン(前年同月212トン)で、1日1か統あたりの漁獲量は386kgであった(前年同月588kg)。

主な漁場は焼津・大井川沖であったが、下旬には一時的に富士川沖にも形成された。水揚げされたサクラエビの体長組成をみると、体長36~37mmにモードを持つ群れで構成されていた。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量(ト)	日数	1日1か統当たり平均漁獲量(kg)	漁 場
平成28年4月上旬	59.6	2	497	焼津・大井川沖
中旬	16.3	1	272	焼津・大井川沖
下旬	86.0	4	358	焼津・大井川沖、富士川沖
平成28年4月計	161.9	7	386	焼津・大井川沖、富士川沖
平成27年4月計	211.5	6	588	焼津・大井川沖
平成26年4月計	113.7	6	316	焼津・大井川沖
平成25年4月計	135.6	5	452	焼津・大井川沖

* 水揚量は、旬ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が643kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が990kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は875kgと前年同期(501kg)の175%、平

年同期(過去5か年平均:522kg)の168%と前年同期、平年同期を上回った。また、総水揚量は1,744.6トンで前年同期(1,096.3トン)の159%、平年同期(961.0トン)の182%と、前年同期、平年同期ともに上回った。平均単価は442円/kgと、前年同期(632円/kg)、平年同期(515円/kg)を下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新居	176.9	14	194	912	357
舞阪	578.3	14	590	980	419
福田	394.2	14	374	1,054	394
御前崎	170.6	16	176	969	404
吉田	221.8	18	360	616	628
静岡	202.8	15	300	676	502
平成28年4月計	1,744.6	91	1,994	875	442
平成27年4月計	1,096.3	101	2,189	501	632
平成26年4月計	1,384.6	118	2,461	563	537

* 各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

* 平年同期:過去5か年(平成23~27年)平均値

[まき網]

小川港のマイワシの水揚げは1.6トンで、平年同期(147.9トン)の1.1%、昨年同期(139.0トン)の1.2%であった。沼津港のマイワシの水揚げは90.2トンで、平年同期(137.1トン)の65.8%、昨年同期(194.2トン)の46.4%であった。静岡港のマイワシの水揚げは0.2トンで、平年同期(0.11トン)の178.9%、昨年同期(0.04トン)の454.5%であった。伊東港の水揚げは80.8トンで、平年同期(3.12トン)の2,593.1%、昨年同期(14.3トン)の565.0%であった。

カタクチイワシの水揚げは、小川港で26.9トン、沼津港で6.2トン、静岡港で8.1トン、伊東港で33.9トンであった。なお、伊豆東岸定置網8か統の水揚げは、マイワシがなく、カタクチイワシが1トン未満であった。

* 平年同期:過去5か年(平成23年~27年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

4月5日 ~ 4月7日	地先定線観測調査	(3日間)
4月10日	焼津みなとまつり(一般公開)	(1日間)
4月11日	公共用水域水質測定調査	(1日間)
4月12日	カイト式ネット展覧試験	(1日間)
4月18日 ~ 4月21日	伊豆諸島周辺カツオ魚群分布調査	(4日間)
4月25日	ふく稚魚調査(ユーストネット)	(1日間)
4月26日	いわし類卵稚魚分布調査(ユーストネット)	(1日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

